

Eine Alpensinfonie



©Sibylle Zettler

黄金色に輝く響き。トランペット界の名人

トランペット **マティアス・ヘフス**
Trumpet MATTHIAS HÖFS

近現代ドイツ音楽の多彩な魅力に触れるひととき

ヘンツェ：夢見るセバスティアン〈日本初演〉

ベーメ：トランペット協奏曲 へ短調 作品18（マティアス・ヘフス編）

R.シュトラウス：アルプス交響曲 作品64

HENZE: Sebastian im Traum (Japan Premiere)
BÖHME: Trumpet Concerto in F minor, op. 18
(arrangement/orchestration: Matthias Höfs)
R. STRAUSS: Eine Alpensinfonie, op. 64

アルプスみたいな人生



ベルリン・フィル、METなどで活躍するドイツの名匠

常任指揮者 **セバスティアン・ヴァイグレ**
Principal Conductor SEBASTIAN WEIGLE

読売日本交響楽団 第151回 横浜マチネーシリーズ

2026 7/19〈日〉14:00 横浜みなとみらいホール
S ¥8,800 A ¥7,700 B ¥6,600 C ¥5,000
YNSO Yokohama Matinée Series No. 151
Sun. 19 Jul. 2026, 14:00 / Yokohama Minato Mirai Hall

読売日本交響楽団 第694回 名曲シリーズ

2026 7/21〈火〉19:00 サントリーホール
S ¥8,800 A ¥7,700 B ¥6,600 C 完売
YNSO Popular Series No. 694
Tue. 21 Jul. 2026, 19:00 / Suntory Hall

読響チケットセンター 0570-00-4390(10時-18時・年中無休)

主催：読売新聞社、日本テレビ放送網、読売テレビ、読売日本交響楽団
助成：文化庁文化芸術振興費補助金(舞台芸術等総合支援事業(公演創造活動))
独立行政法人日本芸術文化振興会
協力：横浜みなとみらいホール(7/19公演)

読 響
Yomiuri
Nippon
Symphony
Orchestra

Eine Alpenphonie

名匠と名手が描く、ドイツ音楽の豊かな横顔。

ヘンツェ、ベーム、R.シュトラウス。 知らなかったドイツの音に息を呑む。

読響常任指揮者セバスティアン・ヴァイグレが、自国ドイツの音楽をさまざまな角度から照らす興味深いプログラムを組みました。ハンス・ヴェルナー・ヘンツェ、オスカー・ベーム、リヒャルト・シュトラウス。まったく異なる作風を持った3人の作曲家が並びます。

ヴァイグレは20世紀ドイツ音楽の伝道師となって、これまで知られざる作品を含む多くのレパートリーを読響ととりあげてきました。今回演奏するのはヘンツェの「夢見るセバスティアン」という2004年に書かれた作品です。題材となっているのはザルツブルク生まれの表現主義詩人ゲオルク・トラークルによる同名の詩。ヘンツェはこの詩で描かれたザルツブルクの夜の風景や、少年期の空想、死体安置所、天使、影といったイメージを、音楽に写し取ったと言います。詩におけるセバスティアンとは詩人自身の分身とも解されますが、そういえば指揮者ヴァイグレの名もセバスティアンであるのは偶然でしょうか。

オスカー・ベームはドイツに生まれ、ロシアに渡って活躍したトランペット奏者、作曲家。スターリン時代にドイツ系であることから悲運の死を遂げましたが、近年、残された作品への再評価が進んでいます。



セバスティアン・ヴァイグレ
常任指揮者

2019年4月から読響第10代常任指揮者を務めるドイツの名匠。1961年ベルリン生まれ。82年にベルリン国立歌劇場管の首席ホルン奏者となった後、巨匠バレンボイムの勧めで指揮者へ転身。2003年には雑誌「オーバンヴェルト」の年間最優秀指揮者を受賞。04年から09年までリセウ大劇場の音楽総監督を、08年から23年夏までフランクフルト歌劇場の音楽総監督として手腕を発揮した。バイロイト音楽祭、ザルツブルク音楽祭、ウィーン国立歌劇場、メトロポリタン歌劇場、ベルリン国立歌劇場、バイエルン国立歌劇場、ドレスデン国立歌劇場、英国ロイヤル・オペラ、ベルリン・フィル、バイエルン放送響、ウィーン響などで活躍。24年には読響の欧州ツアーを成功に導いた。



マティアス・ヘフス
トランペット

世界最高峰のトランペット奏者。18歳という若さでハンブルク州立歌劇場の首席奏者に就任し話題を呼び、以後16年間同歌劇場に在籍し数々の音楽賞を受賞。1985年からは、ドイツの金管アンサンブルのパイオニア的存在である「ジャーマン・プラス」のメンバーとして活躍し、2016年には同団体がドイツで最も権威あるエコー・クラシック賞を受賞した。世界各国からソリストとしても招かれており、ヘフスのために作曲された作品も多い。編曲者としての手腕も高く評価されており、これまでにリリースしたCDには自ら編曲した曲も数多く収録されている。2000年にはハンブルク音楽大学教授に就任。客員教授として各国の音楽大学にも招聘されている。読響初登場。

トランペット協奏曲は、ロマン派のスタイルで書かれており、まるでオペラを思わせるような華やかさがあります。ソリストとして各国の主要オーケストラから招かれる世界最高峰のトランペット奏者、マティアス・ヘフスが、輝かしい音色と鮮やかな技巧を披露してくれることでしょう。

メイン・プログラムはリヒャルト・シュトラウスの「アルプス交響曲」。オーケストレーションの達人が、音の夏山登山へと誘います。日の出、山道、滝、草原、牧場、氷河、嵐など、自然の描写のつらなりから、壮大なドラマがわきあがってきます。オーケストラに最大限の機能性を求める作品だけに、ヴァイグレと読響の成熟したコンビによる演奏が、いちだんと大きな喜びをもたらしてくれるにちがいありません。

飯尾 洋一（音楽ライター）

読売日本交響楽団 第151回 横浜マチネーシリーズ

2026年7月19日(日) 14時開演

横浜みなとみらいホール 神奈川県横浜市西区みなとみらい2-3-6 Tel. 045-682-2020

S ¥8,800/A ¥7,700/B ¥6,600/C ¥5,000

●東急東横線直通・みなとみらい線「みなとみらい」駅 クイーンズスクエア横浜連絡口 徒歩3分
●JR京浜東北線・根岸線、横浜市営地下鉄「桜木町」駅 動く歩道からランドマークプラザ経由でクイーンズスクエア1階奥 徒歩12分

読売日本交響楽団 第694回 名曲シリーズ

2026年7月21日(火) 19時開演

サントリーホール 東京都港区赤坂1-13-1 Tel. 03-3505-1001

S ¥8,800/A ¥7,700/B ¥6,600/C ~~¥5,000~~ SOLD OUT

●東京メトロ南北線「六本木一丁目」駅(3番出口)より徒歩約5分 ●東京メトロ銀座線「溜池山王」駅(13番出口)より徒歩約7分

【託児サービス】横浜みなとみらいホールには託児サービスがあります。株式会社 明日香 0120-165-115(平日10時-17時/公演3営業日前までに予約) 【学生券】学生の方は残席がある場合、¥2,000で入場できます(要学生証/25歳以下)。ただし席を選ぶことはできません。開演1時間前から受付で整理券を配布します。■都合により曲目、出演者等が一部変更される場合もございます。■ご購入いただいたチケットは、公演が中止になった場合以外でのキャンセル・払い戻しはできません。あらかじめご了承ください。■未就学児のご入場は、固くお断りいたします。【読響ホームページ】<https://yomikyo.or.jp/>

読響チケットセンター 0570-00-4390

*10時-18時・年中無休

読響チケットWEB <https://yomikyo.pia.jp/>

*座席選択可/チケット郵送料無料



プレイガイド 横浜みなとみらいホールチケットセンター 045-682-2000(7/19公演)

サントリーホールチケットセンター 0570-55-0017(7/21公演)